

平成 26 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	080300	TEL	2991-1813
事業コード	健康日本21計画推進事業	健康づくり支援課				
080303		グループ	健康づくり第2G			
開始年度		平成 18 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令	
	分野別計画・指針	健康日本21所沢市計画、地域福祉計画、次世代育成支援行動計画、高齢者福祉計画、介護保険事業計画、所沢市食育推進計画			健康増進法	
	関連・類似事業	健康教育、健康相談、健診事後指導、機能訓練、訪問指導、食生活改善推進、成人歯科健康教育・健康相談等				
	総合計画の体系	章	健康・福祉	節	保健・医療	基本方針
事業開始の背景	平成12年3月、国の提唱した「21世紀における国民健康づくり運動」に基づき、埼玉県では、「すこやか彩の国21プラン」を策定し運動を推進している。本市でも、平成15年5月に施行された健康増進法に基づき、「健康日本21所沢市計画～健康とこころ21～」を策定(平成18年3月)した。平成18年4月から計画に基づき、市民一人ひとりの健康づくりを社会全体で支えていくための施策を展開している。平成23年4月から「第2次健康日本21所沢市計画～健康とこころ21～」に基づき、引き続き市民一人ひとりの健康づくりを社会全体で支えていくための施策を展開している。					

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	市民一人ひとりが、健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、生涯にわたり、自らの健康状態を自覚し健康増進に取り組めるようにするために、行動計画に基づき健康づくり運動を推進する。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)				
	全市民	対象数	単位	平成 24 年度	342,735 人
			平成 25 年度	342,564 人	
事業の具体的な内容及び実施方法					
「第2次健康日本21所沢市計画(平成23年度策定)」を推進するため、計画における「5つのライフステージ」の各行動目標及び行動計画に基づき事業を実施した。 (1)乳幼児期:①生活リズム・運動あそびに関するパンフレットを乳幼児健診などで配布し、情報提供を行った。②市民ボランティアの協力を得て、BCG接種の待ち合い時間に、乳児期に適したあそびや絵本の読み聞かせについての紹介を行った。また、ボランティアに対する研修会も実施し事業の定着を図った。 (2)児童・生徒・学生期:①新小学1年生保護者向けの健康パンフレットを配布。②保健センター事業を紹介する教育媒体を作成し、市内中学校に配布。 (3)青・壮年期:①小規模事業所への健康情報紙を配布や自動血圧計の無料貸し出しを実施。②保健所と共同で特定健診・がん検診等の受診勧奨を実施。③働く世代を対象とした健康チェック・健康情報提供機会を増やした。④所沢市子育て情報サイトに「産後の健康づくり」に関する情報を掲載できるようすめた。 (4)中・高年期:①「シニアのための子育て応援講座」を実施。②新たに作成した三ヶ島第2地区ウォーキングマップを配布。マップの活用事業を実施。 (5) みんなだれでも:①所沢市こころの健康ガイドブック「はあとこガイドⅢ」・高次脳機能障害者向けの情報冊子を作成。②障害児を持つ家族の実態調査の準備を進めた。					

④経費	＜会計種別＞		一般会計		平成 24 年度 (千円)	平成 25 年度 (千円)	平成 26 年度 (千円)
	当初予算			2,800	2,888	2,742	
	決算(見込み含む)			1,389	2,528		
	(非常勤特別職員)	(臨時任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	※「財源内訳」について 平成26年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	正規職員人件費			2.10 人	3.65 人	32,441	
	事業費合計			19,999	34,969		
財源内訳	一般財源			19,999	34,969	2,742	
	国・県支出金			0	0		
	その他()			0	0		

⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 24	H 25	H26見込み	将来目標
	推進分科会の開催	推進分科会の実施回数	回	26	50	50	50
	学習活動の開催	学習活動の実施回数	回	387	358	370	400
	学習活動の参加者	学習活動の参加者数	人	10,792	9,514	10,000	11,000

⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 24	H 25	H26目標値	将来目標	
	成果指標	朝の目覚めが快適な市民の割合	%	目標値	77	79	82	85
				実績	62	68	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大図る <input type="checkbox"/> 縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	81	86	↑どちらかをチェックしてください	

⑦改善点	平成25年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください)						
	他機関との連携を進めた～①健康とこころ21(第2次)の実施状況調査を全庁対象に実施②児童生徒期では、保健センター事業を紹介する教育媒体を作成。センター職員が作成した教育媒体を使って、実際に生徒たちに保健センターの活用法や健康の大切さを伝えた。③保健所と連携し、食品衛生協会の検便検査を利用して、特定健診・がん検診等の受診勧奨を実施。③子ども支援課との連携により所沢市子育て情報サイトに産後の母親向けの健康管理情報を提供できるようすめた。						

⑧評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	すべての市民が健やかで心豊かに生活できるように、今後も関係機関との連携を図りながら、より一層計画の推進が必要である。
			次年度予算 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	計画の行動目標が達成できるよう事業内容や実施方法の改善・効率化を図り実施していく必要がある。健康とこころ21計画は保健医療計画の実施計画としての位置づけになるが、次年度に向けて策定する必要があるため。
	評価日	健康づくり支援課 課長 岸 健次			
今年度の状況と今後の方向性					
今後も、5つのライフステージ個々の取り組みだけでなく、ライフステージ相互の連携を図りながら推進していくことも必要である。また、計画は市の計画であるため、庁内外においての周知・啓発活動をより一層強化していく必要がある。また、平成27年度中に保健医療計画の実施計画としての策定に向け、事業の充実を検討していく必要がある。					

⑨環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無